

勢和小学校だより



明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～

発行日：令和8年3月25日 第34号

やって・考えて・工夫して 広がる子どもたちの成長

「明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～」の学校教育目標の実現に向け、子どもたちと目標や課題を共有しながら、よりよい学校生活となるよう教育活動を進めてきました。以下に、各学年の成長を振り返ります。

1年生：45分間という子どもたちにとって長い授業でも、担任や授業者の指示をよく聴き、やるべきことに一生懸命取り組んでいます。学習発表会や卒業式の別れの言葉では、練習当初に比べて大きく成長した姿が見られ、1年生のひたむきさが伝わってきました。

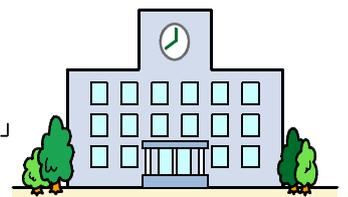
2年生：人の話をよく聴き、授業に前向きに取り組む姿が印象的でした。友達が困っていると自分から声をかけるなど、温かさを感じられます。卒業式では、練習の段階から心のこもった姿が見られ、本番では力強い別れの言葉を届けていました。

3年生：話をする人の方を向いて聴く、発表後に反応するなど、友達の思いを大切に作る姿が見られました。クラスの目標達成に向け、「どうすればよいか」を仲間と考えながら取り組むことができました。朝のあいさつも明るく元気で、昇降口に活気があふれていました。

4年生：班長やリーダーを中心に、みんなで協力しようとする姿が印象的でした。授業中の話し合いや学級掃除、給食準備などで自分の役割を自覚し、主体的に取り組むことができました。6年生を送る会では、企画・準備・進行を担い、成功へとつなげました。

5年生：一人ひとりの元気がまとまり、大きな力となった一年でした。卒業式に向けては、別れの言葉の練習について在校生に向けて振り返りを伝えるなど、リーダーシップを発揮しました。前日の会場準備でも、進んで役割を見つけ、学年全体で協力して取り組む姿が見られました。

6年生は卒業しましたが、1年生から5年生一人ひとりが、「明日も行きたくなる勢和小」の実現に向け、自分事として考え、行動していくことを期待しています。



学びを行動へ ケガ防止に向けた5年2組の提案



国語科の学習で、事実と感想、意見を区別し、説得力のある提案を行う単元があります。5年2組では、学校生活でケガが多いことを課題と捉え、ケガ防止に向けて何ができるかを考える中で、実際に校舎内にポスターを掲示し、啓発に取り組むことになりました。

先日、各クラスに向けて動画を配信し、ポスターを作成したことや、1階から3階の階段に掲示したこと、ケガに気をつけて行動してほしいことなどを伝えました。

子どもたちが自分たちの学校生活を見つめ、課題に気づき、自分事として捉えて行動している象徴的な取組です。今回のたよりでは紹介していませんが、他にも学校生活をよりよくしようと、本校の学校教育目標サブテーマ「やって、考え、工夫しよう」を実践している子どもたちが多くいます。今後も楽しみです。

今年度の取組の成果と改善に向けて

本校では、「①子どもたちにとって授業が分かること」、「②教室や学校が子どもたちの居場所となっていること」、「③子どもたちが目の前の課題から目をそらさず取り組もうとすること」、「④子どもたちが仲間の存在を意識し、ともに頑張ろうとすること」、「⑤子どもたちにとって安全・清潔で健康的な環境を整備すること」の5点を重点として取り組んでまいりました。

このうち、③④については、これまで学級通信や学校だより等でお知らせしてきたとおり、子どもたちの姿として着実に表れてきています。

一方で、①②⑤は教職員の取組に関わる内容です。一定の成果が見られた部分もある一方、十分とは言えない点もありました。うまくいかなかった点については改善策を検討し、取組の見直しを進めてまいります。

また、子どもたちの人間関係に関わるトラブルやけが・体調不良への対応については、関係するご家庭に速やかに連絡し、事実や対応を共有してまいりました。現在も解消に至っていない課題については、新年度においても引き続きご家庭と連携を図りながら、丁寧に対応してまいります。

今後とも、お気付きの点やご心配なことがありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

お世話になりました

本校を離任する職員です。これまで大変お世話になりました。

教 員：松岡美佳、森田竜也、山路鷹貴、垣内麻鈴、中川直和、川田佳也、西向安奈（育休中）

学校支援員：伊藤さおり、坂上淳子、坂内裕子